

林大だより



第72号 平成28年10月20日

長野県林業大学校翌協会



2 学年 オーストリア研修



1 学年 城山登山



1 学年 屋久島研修

第67回全国植樹祭・第45回全国林業後継者大会への参加

今年度、長野県において第六十七回全国植樹祭が開催され、県内各地で記念イベントが行われました。林大生は、六月五日(日)に県内各地区で行われた植樹行事のうち、一年生は伊那市の鳩吹公園で山林の除伐作業を、二年生は長野市の茶臼山自然植物園で実施された記念植樹のサポートを行い、未来の森を作る活動に携わりました。全国植樹祭が長野県で開催されるのは五十二年ぶりのことであり、学生たちにとっては貴重な体験となりました。

また、六月四日(土)、飯山市において第四十五回全国林業後継者大会が全国植樹祭の関連行事として開催され、林大生も参加しました。同大会の中で二年生の野本浩幸さん、野田愛風さん、児玉月之助さんが、「これからの明るい林業を目指す担い手からの提言」と題して、トークセッションの部で発表を行い、林野庁や全国の林業関係者から「林大生の若い素直な意見はよかった」といった感想が述べられるなど、大変高い評価を得ました。ポスター展示のブースでは、本校についていろいろな質問があり、学生たちは自分の経験を踏まえ、真剣に対応していました。

第45回 全国林業後継者大会



林大の誇る精鋭による発表です
カッコイイですね！



林大をPRしてます

第67回 全国植樹祭



校長を先頭にセレモニーの観覧です



1年生もみんなで頑張りました

編集後記

今年、はじめて木曾に住むことになりました。過去には何度かこの地を訪ねたことはありましたが、長期間滞在するのは今回が初めてのことです。信州は山国と言われておりますが、木曾地域は、その中でもひとときわ山深い辺境の地といったイメージがあり、かの島崎藤村も「木曾路はすべて山の中にある」と著作の中で綴っております。

しかし、辺境の未開の地と思いきや、歴史は古く、その地名は平安時代の文献から散見され、江戸時代には五街道の一つに数えられる中山道が通っていた交通の要衝であったことは御存じのとおりです。このような大自然と歴史・文化という地域資源を持ったこの地に住むことは、ある意味贅沢なことであり、その幸せをかみしめながら生活をしているところです。生徒の皆さんは、まだ、そんなことは考えないでしょうが、ここでの二年間が人生の中の有意義な一コマとなることを期待してやみません。